

交流自治体におけるふるさと就労体験の実施報告

1 目的

就労支援センターの利用者のうち就労に阻害要因がある若者を対象に、集団で寝食を共にすることで見えてくる一人ひとりの状態を見極め、それらに対応した支援へとつなげることと、イベントメニューを体験することで参加者の成功事例として自信を付けてもらうことを目的に合宿型のふるさと就労体験事業を実施する。



2 実施日時及び実施場所

- ・ 10月19日～21日（2泊3日）
- ・ 交流自治体の南伊豆町

3 実施内容

- ・ 参加者3人
- ・ スタッフ2人、
- ・ 農業体験（稲刈り体験・イチゴ農園での作業）
- ・ 地元農家との懇親会（農家、役場職員）
- ・ 農産物直売所の見学
- ・ 貸別荘での自炊生活

4 成果

- ・ 通所時の短い時間だけでは見るのが難しい、訓練時以外の様子の把握ができた。
- ・ 参加者は、作業や合宿を通して、得意・不得意などの自己理解が進んだ。
- ・ 農業体験や人との交流を通して情報だけでなく情緒面（意欲的になった・達成感が得られたなど）でも収穫があった。

5 参加者の現状

- Aさん：造園の職業に就職
- Bさん：清掃の職業に就職
- Cさん：就職活動を積極的に始める